

## ①個別データシート

整理番号:

JP428002

種類 廃棄処理

英名 incineration of municipal waste

分類 廃棄物処理業

和名 焼却処理（一般廃棄物）

### ・GHG排出量

3.34E-02 kg-CO<sub>2</sub>e/kg

### ・情報源分類

その他調査データ

### ・技術記述子

一般廃棄物の焼却処理

### ・技術の内容と機能

一般廃棄物の焼却処理。ごみ由来のCO<sub>2</sub>、CH<sub>4</sub>はごみ性状によるため、データには含まず。データ使用時に考慮する必要がある。  
焼却発電は行わない。

### ・情報源

社団法人産業環境管理協会:“平成14年度新エネルギー・産業技術総合開発機構委託 製品等ライフサイクル環境影響評価技術開発 成果報告書”,(2003)

### ・データ作成者コメント

社団法人産業環境管理協会:“平成14年度新エネルギー・産業技術総合開発機構委託 製品等ライフサイクル環境影響評価技術開発 成果報告書”(2003)に基づいて作成。自治体の14施設(N=22)(3施設は3年間分のデータ(N=9))を調査対象とし、年間の環境負荷排出量と年間処理量より算出(得られた8施設のデータの平均値)した。14施設の内訳は、准連続が1施設(N=2)、連続式が13施設(N=20)となっており、また、炉形式でみると、流動床炉が1施設(N=1)、ストーカ炉が12(N=19)、ストーカ・ロータリ炉が1(N=2)となっている。なお、排ガス処理設備については、施設によって異なり、様々な形式(SやClの除去については乾式あるいは湿式(半乾式や半湿式もあり)、Nの除去については触媒あるいは無触媒(併用方式もあり))がそれぞれ採用されている。焼却灰は埋立処理とする。データは単純焼却として扱った。

### ・適用範囲

一般廃棄物の焼却処分に関するものである。不燃残渣の埋立処分も含んでいる。  
廃棄物由来の排出物に関しては、廃棄物の性状によるので計上していない。よってこのデータを用いる場合は、廃棄物由来の排出物を考慮する必要がある。

### ・システム境界

資源採取から対象物の処理までを範囲とする。処理対象物の日本国内における輸送(収集)を含まない。焼却灰(不燃残渣)の埋立処理までを含む。この焼却灰の輸送は含んでいない。

### ・配分

共製品はなく配分なし。

### ・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、電力、系統電力(電力)由来のCO<sub>2</sub>(化石資源由来)、消石灰由来のCO<sub>2</sub>(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	電力kWh	電力,公共	JP120001	2.84E-02	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	燃焼・A重油 L	燃焼・A重油	JP111016	6.45E-04	L	
資源/原材料	中間フロー	入力	用水(井戸水)	井戸水		1.51E-04	m3	
資源/原材料	中間フロー	入力	塩酸(合成塩酸, 35%)	塩酸,合成塩酸,35%HCl		8.81E-05	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	水酸化ナトリウム	水酸化ナトリウム		2.00E-04	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	廃棄・埋立処理(不燃残渣)	廃棄・埋立処理物(不燃残渣)		1.55E-01	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	ごみ(一廃)	一廃(特定せず)	*	1.00E+00	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	ボイラ用脱酸剤	その他の他に分類されない有機化学工業製品		1.60E-05	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	消石灰	消石灰	JP315032	8.31E-03	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	水道水(kg)	上水道	JP323001	1.48E-04	m3	
資源/原材料	中間フロー	入力	工業用水(kg)	工業用水道	JP323002	4.28E-04	m3	
製品	中間フロー	出力	焼却処理(一廃、発電なし、ごみ由来排出物を除く)	焼却処理(一廃、発電なし、ごみ由来排出物を除く)	JP428002	1.00E+00	kg	